

1 地域医療構想（諏訪医療圏）での医療・介護提供体制の課題

- ・ 今後、高齢者の増加が見込まれる中、回復期や慢性期の病床の不足が見込まれるため、病床維持の方策を探りつつ、必要に応じ高度急性期や急性期からの転換を検討していく必要があります。
- ・ 医師の高齢化等により在宅医療を担う診療所が減少し、医師の負担がさらに増していく悪循環となっており、担い手となる医師を確保するための施策が必要となっています。また、※退院時の病院側の情報提供の向上など、病院医師の意識改革等による病診連携の強化や訪問看護の充実が必要です。

※退院時の病院側の情報提供の向上については、別途、諏訪地域在宅医療・介護連携推進協議会において、「介護保険利用者等の入退院に関する医療・介護の情報共有例」を検討中。

2 課題の具体化等のための資料

- ・ 資料4-1 「諏訪医療圏（構想区域）の現状について」（県医療推進課作成）
- ・ 資料4-2 「在宅医療等アンケート集計表」
（諏訪医療圏地域医療構想調整会議 平成29年9月21日実施）